

- 深江駅南地区 地区計画の決定 (P.1)
- 企画展「神戸のまちなみ・建築★再発見」
まちづくりライブラリー 新着図書のご案内 (P.2)
- 「山麓リボンの道」を行く⑩ (P.3)
- 発信！まちセン研究ネット⑩ ほか (P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

深江駅南地区 地区計画の決定

1. 深江駅南地区の概要

深江駅南地区は、東灘区の阪神電鉄深江駅の南東部に位置し、北は阪神電鉄から国道43号沿道を経て、南は臨海部までの一帯の地域で、住宅、商業施設、工業施設等が共存する市街地です。

当地区はいわゆる「まちづくり条例」に基づく「深江地区まちづくり協定」を平成7年に締結した「深江地区まちづくり協議会」の区域の一部で、「庶民的で住みよいまちづくり」を基本理念に、まちづくりに取り組んできました。

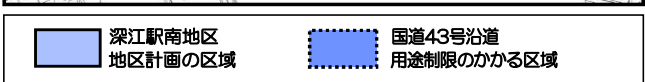
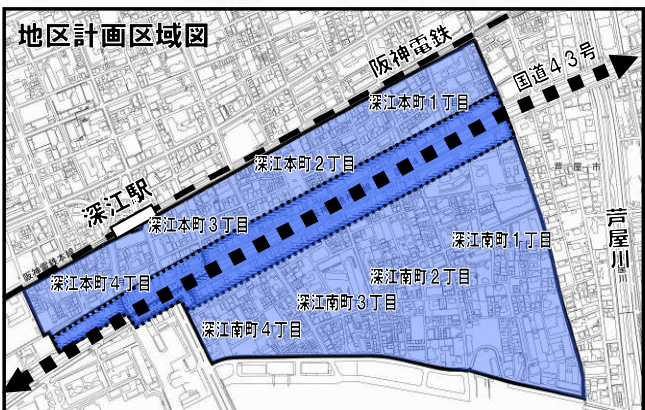
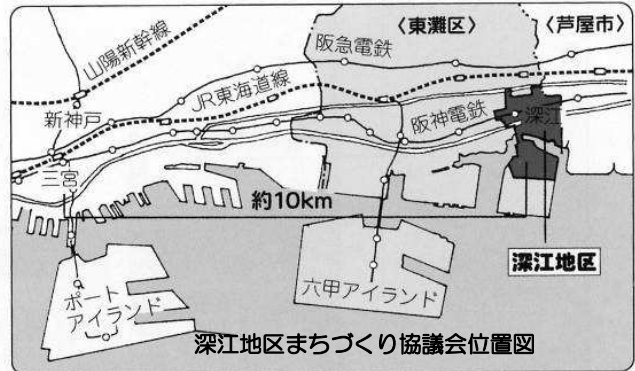
さらに、同協議会では、平成13年より、主に国道43号沿道について、より良好な環境を整備するため、パチンコ店やホテル等、建物の用途を制限する地区計画について検討を重ね、その策定に向けて地域の合意形成を進めてきました。

平成21年11月11日には、地区計画の協議会案を市へ提出し、これを受けて、平成22年6月15日に「深江駅南地区 地区計画」が都市計画決定されました。



協議会案の提出

引き続き、同協議会では、深江駅南地区の地区計画区域のうち国道43号以南において、用途制限の適用される区域の拡大について、検討を始めています。



2. 「深江駅南地区 地区計画」による制限の内容

深江駅南地区の地区計画区域のうち、国道43号沿道においては、住商工の調和のとれた良好な市街地を形成することを目標として、ホテル、旅館、マーシャン屋、パチンコ屋、キャバレー、ナイトクラブ、一部の工場などの建築を制限しています。

詳しくは、神戸市ホームページ

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/urban/district/r00075.html>

などでご確認ください。

★地区計画とは？

各地域の特性にあわせて、その地域ごとに建物の用途や大きさなどの建て方のルールや、道路・公園などの地区施設を決めることができる制度が「地区計画」です。

都市計画法に基づく「用途地域」で決められている建築物の用途・容積・形状などに関する規定を地区計画によって強化・緩和するなど、地域のまちづくり目標の実現のために活用されています。

(都市計画総局地域支援室)

こうべまちづくり会館 企画展

「神戸のまちなみ・建築★再発見！」を開催しました。

こうべまちづくり会館では、神戸にまつわる絵画などを展示する企画展を毎年開催してきました。

今年は1階の都市模型の展示に合わせ、神戸の素晴らしいまちなみや建築物の魅力を再認識していただこうと、7月15日から7月20日まで「神戸のまちなみ・建築★再発見！」を開催しました。今回は新たな試みとして、地下1階ギャラリーだけでなく、3階多目的室にも会場を広げて開催しました。グラフィ誌「市民のグラフ こうべ」で取上げられたまちなみの写真や、歴史的文化的に優れた建築物や地域にまつわる歴史を紹介する「神戸建築物語」のパネル、昨年秋開催された「神戸建築物語デザインラリー（クイズラリー）」の解答、近代建築の転活用事例の紹介パネルなど、バラエティーに富んだ展示内容となりました。

中でも好評をいただいたのは、コンピュータ技術で本物のまちの中を移動しているかのような体験ができる「バーチャルリアリティ（VR）」のコーナーや、マウス操作で上下左右360度見まわす感覚が体感できるQTVR「来る来る神戸」体験コーナーでした。7月19日の午後にはCGを使ってコンピュータ画面上に建築物をつくる体験教室を開催しました。

来場者の方からは「この話は初めて聞きました」（建築物語）、「初めての体験でしたが、パソコンの操作方法になれると面白い」（VR・QTVR体験）、「住みたくなるようなまちがありました」（3階展示）など、神戸の「まち」について新たな発見があったという声をたくさんいただきました。

今後もまちづくり会館では、様々な展示を企画していきます。なお、展示した写真の一部はまちづくり会館のホームページ内の「神戸建築データバンク」「神戸建築物語デザインラリー」でもご覧いただけます。また会館では、引き続き「市民のグラフ こうべ」も販売しております。私たちのまち神戸の魅力をより深く知って、今一度考えていただく材料として活用していただけたらと考えています。



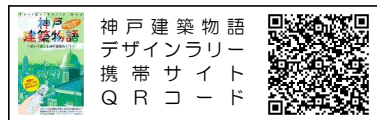
VR映像とパネル展示



ミニ教室「CGで建物モデルとまちをつくらう」



360度のQTVR体験「来る来る神戸」



こうべまちづくり会館ホームページ (<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>)

まちづくりライブラリー 新着図書のご案内



「神戸市今昔写真集」
田辺 真人氏
(園田学園女子大学
名誉教授) 閲覧のみ

こうべまちづくり会館の4階には、まちづくりライブラリー（図書コーナー）があります。都市計画、建築、土木、都市経営、都市社会学等のまちづくりに係わる専門図書と行政資料、その他建築雑誌など5,000冊の蔵書があり、市立図書館にもない専門書もあります。毎年約200冊の新規図書を追加しており、図書の購入希望も受付けています。

まちづくりの手法として、最近よく使われるワークショップに関する本も充実しており、ワークショップコーナーを新設しました。また、まちづくり・震災復興等に関するビデオ・DVDを見ることもできます。

まちづくりに関心のある方も、そうでない方も様々な書籍・雑誌がありますので、ぜひご利用下さい。なお、初回貸出時には、登録が必要です。詳しくは会館（TEL 078-361-4523）まで、お問い合わせください。



ワークショップ関連新着図書
クロスロード・ネクスト、ファシリテーション・グラフィック、ワールドカフェをやる等

「山麓リボンの道」を行くーその12:六甲のやますそ

建築家 森崎輝行 (いきいき下町推進協議会)

さて、今回の山麓リボンの道は、住吉川の中流の西岸にある「白鶴美術館」がスタートです。

緑の中、日本の戦国期の城を思わせる風貌のこの建築は、川沿いということもあって目をひきます。展示の中心は東洋の古美術です。嘉納財閥の白嘉納家（白鶴酒造創業家）7代目当主嘉納治兵衛（1862年 - 1951年）の収集品で、1931(昭和6)年に財団法人白鶴美術館が設立され、1934(昭和9)年から公開されているとのこと。嘉納治兵衛は鶴翁（かくおう）と号し、茶人でもありました。白嘉納家と鶴翁。これから「白鶴」と名がついたのでしょか？



白鶴美術館

この白鶴美術館を後にし、住吉川の西岸のアスファルトの道を少し南下、二股に分かれた西方に進路をとります。すぐにモダニズム建築で知られる渡辺節の設計で住吉御影の邸宅の代表であった「旧乾邸」が、緑のすきまから見え隠れしています。建築主は4代目新兵衛・乾新治です。鉄筋コンクリート造、一部木造で、L字形の建物の中に約20の洋・和室、豪華な暖炉やシャンデリア、吹き抜けのホールなどがあります。筆者が17、8年前、邸内を見学した（1993年、5代目当主の豊彦が死去し、相続税として国に物納されたが、その少し前だったような気がする。）時は、まだ、床には高価なペルシャ絨毯、壁には小磯良平の絵画が掛かっていたのを覚えています。あの、小磯の絵はどこにいったのだろうか？などと思いながら、足を進めます。

JR住吉駅までのルートも山麓リボンのみちのコースです。有馬に向かう道で、江戸の当時、この道がぬかるみ、それを補修した翁にちなんで「千歳道」ともいわれています。この道の旧乾(新兵衛)邸を少し南に下ったところに、山田太郎・次郎水車があります。まちづくりの一環として、平成14年10月に設置されました。現地の解説看板等によると、六甲山麓には、江戸期から多くの水車があり、住吉川流域だけでも、88カ所も存在し、灯油の油搾(しぼ)り、製粉、酒米の精米などの水車産業が盛んであったといわれ、中でも、精米の生産性向上と高精白により



灘目(なだめ)の水車
(山田太郎・次郎水車)

酒質を向上させ、灘の酒造りの発展に大きく寄与しました。また、この水車は、大変希少な樹齢270年の巨木の総赤身の杉で作られたとも記されています。

本日のコースは旧乾邸の北側の道まで引き返します。さらに西進すると、若宮八幡神社のあたりで、山麓リボンのみちが、甲南病院から一王山へ行くものと阪急神戸線の山側を通る2コースに分かれます。今回は、南下。阪急御影駅近くの「深田池」に向かいます。山麓リボンの道の冊子（発行：神戸市）によると、農村時代、ため池として利用されていた池を中心に公園として整備され、春には、桜の名所としてにぎわいをみせています。なぜ「深田池」と名づけられたかは、昭和36年9月の住宅地図でわかります。当時の地図には、「浅田池」という池がやや西南に存在しています。近くに住んでいる方からもそのお話を聞きました。しかし、昭和40年6月の住宅地図では埋め立てられ、宅地化されているのが確認できます。深田池の西南すぐのところに、かつて、西の山（今の大林邸の近く）の上に墓所へ行く為の道がありました。当時は、幅1mにも満たない道で、現在も、広いところでも2mもありません。この道は「竹垣の道」と呼ばれ、竹垣を手入れされている土地所有者が昨年の神戸市景観ポイント賞を受賞されました。ホッとした落着きのあるみごとな道です。是非、一度訪れて見て下さい。



竹垣の道

少し、阪急御影駅の方へ寄り道です。今は、都市計画道路が完成し、かつてを知る人には想像も出来ない姿になっており、この変化が私たちを、より「竹垣の道」へと誘っているように思います。

さらに西上し、神戸大学のキャンパスへ向かいます。1908(明治41)年5月、高羽山中の茶畑の地、現在の神戸大学の敷地で赤松城の建物とみられる遺構が発見されました。赤松城については諸説ありますが、城主であった赤松氏については「太平記」などに、鎌倉時代末期1333(元弘3)年、播磨の豪族赤松円心が大塔宮護良親王の命令を受けて兵を挙げ、鎌倉幕府の京都六波羅探題の軍と戦ったことが記されています(神戸市灘区のホームページによる)。山城だったこの地形は坂が多く、特に阪急六甲から神戸大学への最後の坂は、私がこの大学の学生だった頃、この坂を登れないようだといわれたことから「定年坂」と呼ばれていたのです。納得。

発信！！まちセン研究ネット⑫ 空間像研究会

空間像研究会は、2003年11月に発足し、建築家、都市プランナー、行政、研究者、学生等が集まり、神戸の都市空間のあり方について議論を重ねています。およそ月1回のペースで研究会を開催し、2010年5月の研究会で第40回を迎えました。

最近の研究会への参加人数は、15名程度で、話題は、時期に応じたものを柔軟に取りあげています。例えば、景観法の施行時は、景観法の勉強会を行いました。普段は、研究会メンバーが仕事等で取り組んだ内容について、プレゼンテーションし、その後、議論をしています。話題が広範囲に及び、建築から都市まで様々な視点での意見が出て、毎回興味深い研究会になっています。2009年度は、「神戸らしい景観形成とはどういうものか」をテーマに議論を重ねてきました。神戸市全域をひとまとめにして神戸らしさを表現する事は難しく、地区ごとに、ハード（建物等）に関する特性、ソフト（文化的）の特性について、写真と言葉で表現する取組みを行なってきました。研究会メンバーには実務家が多いため、専門的な内容になりすぎたかもしれません。将来的には、神戸市民、建築や都市計画の専門家ではない人にもわかりやすい成果にして発表したいと考えています。



空間像研究会の様子

(神戸大学・栗山尚子)

まちづくり会館 展示のお知らせ

1 階オープンギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
7/29(木) ~ 8/10(火)	みちの学校・交通安全総点検	神戸市建設局
8/12(木) ~ 8/31(火)	神戸建築物語	神戸市都市計画総局
9/2(木) ~ 9/14(火)	下水道の適正利用・こうべバイオガス	神戸市建設局
9/16(木) ~ 9/28(火)	日本で最も安全なすまいのまち“神戸”をめざして	神戸市都市計画総局
9/30(木) ~ 10/12(火)	防犯啓発パネル展	神戸市危機管理室

※展示期間が変更になる場合があります。

地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主 催 者
7/29(木) ~ 8/3(火)	第30回 三滴会書道展	三滴会
8/5(木) ~ 8/10(火)	赤窓会 90周年展<写真>	赤窓会
8/12(木) ~ 8/17(火)	スケッチクラブ サンツリー展<水彩・その他>	スケッチクラブ サンツリー
8/19(木) ~ 8/24(火)	第6回 回転ドアの仲間たち 油彩展	回転ドアの仲間たち
8/26(木) ~ 8/31(火)	洋画作品 麓和会展<油彩・水彩>	麓和会
9/3(金) ~ 9/7(火)	劉 素真と神戸墨酔会 水墨画展	神戸墨酔会
9/9(木) ~ 9/14(火)	デジタル書作家協会展	デジタル書作家協会
9/16(木) ~ 9/21(火)	森の会展<油彩・水彩等>	森の会
9/23(木) ~ 9/28(火)	第43 兵庫倶楽部 写友会 写真展	兵庫倶楽部写友会
9/30(木) ~ 10/5(火)	きんもくせいひの会 絵画展<水彩・パステル>	きんもくせいひの会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時（水曜日休館）

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前9時30分～午後5時30分（水曜日休館）

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565

4月から、まちづくり会館の開館時間が午前9時30分となりました！